

楽天モバイルパークを彩る
「献上桃の郷」

桑折町冠協賛のプロ野球1軍公式戦・楽天イーグルス対オリックス・バファローズ戦が5月10日、仙台市の楽天モバイルパーク宮城で開かれ、約250人の町民とともに町をPRしました。

本町の冠協賛試合は、今年で4回目。スタジアムの至るところに「意外と近い桃のまち、桑折町」と記されたのぼり旗が立てられ、

スタジアムを彩る「献上桃の郷」

桑折町一色 2万人へ魅力発信

東北楽天ゴールデンイーグルス
献上桃の郷 桑折町デー



楽天野球団提供

1



3



4

楽天野球団提供

2



5

1_高橋町長と片平秀雄議長から両球団選手へ、町産桃あかつきの目録を贈呈 2_大正ロマン風の衣装に身を包んだ田中副町長によるノーバウンド始球式 3・4_スタジアム各所で町をPR 5_大盛況の抽選会

大型ビジョンやテレビモニターに町ロゴマークが映し出されるなど、約2万人の観客に「献上桃の郷」桑折町をPRしました。



6

7



6_来場者に町のガイドブックやイベントのチラシなどを配りPRする町職員 7_大型ビジョンに映し出された町ロゴマークを背に、町のうちわや手作りのホタピーのパネルなどで町をPRする町民のみなさん

スタジアム各所で町をPR

スタジアム正面広場に設けられた町ブースでは、町公式LINEに登録した人を対象とした、町産桃などが当たる抽選会や6次化商品などの販売を行い、長蛇の列ができるほど賑わいました。

町ブース脇に設置された特設ステージでは、高橋宣傳町長と田中香代子副町長が登壇し、町の桃や歴史などを紹介。始球式では、田中副町長が袴姿で登場し、今年で開庁140周年を迎える旧伊達郡役所をPRしました。

盛大に開かれた桑折町デーは、JAふくしま未来や伊達果実農協職員の協力や農産物の提供、福興産業(株)より観戦チケットの提供をいただくなど、町民や企業団体、町が一体となり町の魅力を多くの人に発信できた日となりました。